

会議名:令和5年度第2回沼津市自転車活用推進協議会

開催日時:令和6年3月27日(水)10時00分~11時30分まで

開催場所:沼津市水道部庁舎3階 大会議室

公開・非公開の別:公開

傍聴者数:1人

会議次第	1 開会 2 議事 沼津市自転車活用推進計画における令和5年度実績及び 令和6年度の取り組み内容について【資料1】 3 その他 4 閉会
------	---

<出席者>

	氏名	所属	欠席・代理出席
1	中村 文彦	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任教授	
2	小宮山 学	東海旅客鉄道(株)沼津駅長	
3	村田 佳弘	(株)東海バス 沼津営業所長	
4	鈴木 智善	静岡県タクシー協会 沼津・三島支部長	
5	佐野 千代	沼津商工会議所 総務管理課長	
6	石原 俊雄	特定非営利活動法人 沼津観光協会 事務局長	
7	小野 剣人	特定非営利活動法人 カケルバイク 理事長	
8	山本 茂雄	沼津市自治会交通安全会連合会長	
9	河本 秀昭	沼津市高校生自転車マナー向上委員会責任者 加藤学園高等学校	欠席
10	辛嶋 亨	国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所長	代理出席 二葉委員代理
11	紅野 伸修	静岡県沼津土木事務所 企画検査課長	代理出席 石野委員代理
12	土屋 直也	沼津警察署 交通課長	代理出席 築野委員代理
13	栗原 浩一	公募委員	欠席
14	中川 義広	公募委員	
15	椿 美邦	公募委員	欠席

・主な意見等について

目標1について

・沼津市内は矢羽根などの自転車利用環境が良く整備されている。太平洋岸同自転車道も今後整備が拡大されることだったが、他県ではせっかく整備した道路に草が生い茂ってしまっているような事例もあるため、対策を計画の中でも講じられると良いと思う。

・交通ルールについて、大人が正しい知識を持っていないと、子供に教えられないと思う。大人がルールを守らないと、子供もそれで良いと思い、ルールを守らない行動を真似してしまう。一般向けの交通安全教室に参加することで、改めて交通ルールを認知すると思う。

・全国的に、特に市管理クラスの道路では路面標示が薄くなりそれが様々なトラブルにつながってしまった事例はよく聞くので、矢羽根等の路面標示が薄くなってしまいう前に対策を講じることは意識して欲しい。

目標2について

・電動キックボード等の新たなモビリティツールの活用を計画の中に盛り込んだのは、計画を策定する際、自動車に依存しすぎないまちづくりを進めて行こうというなかで、自転車だけでなく移動の利便性を高める施策として取り組んで行くこととしたためである。

・電動キックボードは自転車の走行空間を一緒に走行するため、いろいろな問題が出てくることが考えられ、動向をウォッチしていく必要がある。移動を楽しめるモビリティと記載されているが、この乗り物が自転車の走行空間を走ってくる可能性があるときに、この点をどう見るかという視点は常に必要である。そのため、この項目は計画の中に残し、毎年様子を見るのが望ましい。

・路上駐輪場の設置については、維持管理がしっかりできるよう、有料化が進んでいる政令市等の事例も参考にしながらご検討いただきたい。

目標3・4について

・香陵アリーナにおけるレンタサイクルの設置は民間事業であるが、計画に入っていることなので、様々な方法で積極的に市から周知していただきたい。

・昨今では健康づくりが大きく注目されており、JR東海でもさわやかウォーキングを開催している。数百人、数千人の方に同時に自転車を利用していただくことは難しいと思うが、沼津市で様々な取り組みを行っているということをアピールできる場だと考えている。一部のコース上でデモンストレーションや告知を行うなど、そういったところでお手伝いができると思う。

以上